

岐阜県経済の現状のポイント（平成 25 年 8 月分）

【景況感】

景気は持ち直しており一部に緩やかな回復傾向がみられる。

【製造業】生産、売上げは、輸送機械関連を中心に改善

- 製造業全体では、円安により原材料価格の上昇が生じているものの、輸送機械関連を中心に受注や生産が増加しており収益が改善している。
- 生産用機械においては、引き合い及び国内企業からの受注が増加している。

【地場産業】依然として厳しい状況が続いている

- 木工等で明るい声が聞こえたが、依然として消費意欲の減退や海外製品との競合、原材料費の値上がりなどにより厳しい状況が続いている。

【消費】大型店を中心に持ち直しの動きがみられる

- 大型小売店では衣料品は夏物を中心に堅調な動きであり、食料品は引き続き順調であった。8月はお盆の手土産やお中元などのギフト関連品が好調であった。
- 商店街においてはイベントの実施により多くの人出で賑わった。

【観光】前年の水準を概ね確保

- 前年並みの水準を概ね確保している模様。インバウンドは台湾やアセアンなどアジアで引き続き好調な動きが見られる。

【雇用】業務量の増加により雇用を増やす企業が出始めている

- 生産量の増加により業務量が増えたため雇用を増やす企業が出始めている。雇用にあたっては専門職や即戦力の人材を求めているが、採用に苦慮している企業が多い。

【設備投資】設備投資意欲は増加するものの実績は横ばい

- 設備投資の理由のうち「補修・更新」といったやむを得ない理由が増加し、「生産能力拡大・売上増」といった前向きな設備投資が減少した。一方で設備投資意欲DIは、改善傾向。

【資金繰り】資金貸付実績及び借入意欲は依然として低い

- 企業の資金繰りは、改善傾向が一服し、ほぼ横ばい状態にあるが、新規借入れ需要は依然少ない。